アストラハンの基本情報

ヴォルガ川が育んだ貿易都市で「ヴォルガのベネチア」とも呼ばれています。ヴォルガ川がカスピ海に流れる下流域に位置するアストラハンはカスピ海でとれるチョウザメで有名です。ここでは世界三大珍味の一つであるキャビアが加工されます。またアストラハンは、ヴォルガ・デルタの恵まれた自然環境の中に生息する希少動植物(ペルシャ・ちょうざめ、ベルーガ、わらいがえるなど）が見られます。

春から秋にはモスクワからヴォルガ川を下りアストラハンまでクルーズを楽しみ、アストラハンで釣りや野鳥観察、キャンプなどをして自然を楽しむツーリストが増えます。デルタには世界最大と言われる蓮の花の群生地があり、見事な花を咲かせ欧米からの観光客も増えています。

また、アストラハンは古来から東西、南北の交易路であることから多民族州となっており150以上の民族が平和に暮らしています。詩人フレーブニコフは多くの民族と宗教が混じりあう「キリストとブッダとマホメットの三角形」と呼びました。

アストラハンは魚釣りでも有名でロシアの釣り好きがここに集まってきます。ここは年間を通じて魚のいない季節というのがありません。アストラハン・ウハーという魚のスープ、ヴォーヴラという干し魚も有名です。

それに、スイカの名産地としても有名でピョートル大帝があまりのおいささに感激したことでも有名です。郊外には「スイカ博物館」があり、スイカの試食やスイカ料理を楽しむことができます。

・服装

服装は派手でなく、地味でなく、動きやすいこぎれいな服が良いでしょう。暑い日が続きますが日によって寒暖の差が激しいので念のため重ね着をお勧めします。夏は日差しが強いですので日焼け止め、またヴォルガ川があるため雨上がりにはたまに虫も多いですので虫よけスプレーをご用意いただければよいかと思います。

・チップ

ガイドへのチップは1日20～30ドル分、ドライバーはその半分、他は不要です。

・空港とアクセス

空港は一つ。クレムリンから南に約９ｋｍ。車で約２０分

1. アストラハン市の人口

503,087人（2008年現在）

2. 広さ

アストラハン州の面積は44,100平方キロメートル（モスクワ州より少し少ない、国内第55位）。
（参考：東京２３区の面積は約６２２平方キロメートルです。）
モスクワ州は45,900km2（参考：関東１都６県の面積が32,420km2です）

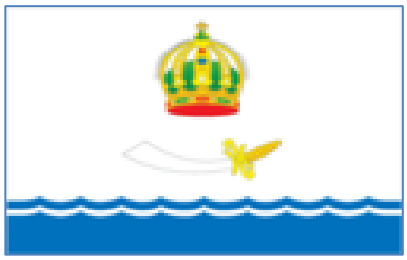
3. 気候

ステップ気候で、冬は寒く夏は暑いです。　　ヨーロッパで最も乾燥している地域の一つで、降水量が少なく、一年を通じて安定しています。ロシア国内では温暖な地方です。夏は暑く、40度を超えることもあります。

アストラハンの気候　1981-2010年平均												
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 ℃	−1.0	−0.1	6.7	17.7	24.1	29.1	31.6	30	24	15.4	7.1	1.3
日平均気温 ℃	−4.8	−4.7	1.4	11.4	17.8	23	25.2	23.4	17.3	9.6	3.2	−1.8
平均最低気温 ℃	−7.8	−8.2	−2.6	6.1	12.2	17.3	19.4	17.5	11.9	5.2	0.2	−4.4
降水量 mm	15	11	16	21	24	25	24	19	19	17	16	15
平均降水日数	4	3	4	3	3	3	3	3	3	3	4	4
平均月間日照時間	86.8	110.2	164.3	225	294.5	315	331.7	310	252	179.8	84	

4.　標準時

モスクワ時間帯の標準時を使用しています。時差はUTC世界協定時+3時間で、夏時間はありません。日本との時差はマイナス6時間になります。



市旗

市章

アストラハン小史

古くからアストラカンと呼ばれ、ヴォルガ川右岸に町がありました。ハザールの時代、この一帯はハザールの主要な地域であり、アストラハンの南南西40kmにある村・サモスデルカはハザールの都・イティルと推定されています。ジョチ・ウルスの時代は主要な交易都市・行政都市になりました。ですが、1395年にはティムールにより荒廃しました。そこで12kmほど南の現在のアストラハンの地に町が再建されました。
15世紀後半にはアストラハン・ハン国の首都になりましたが、1547年、クリミア・ハン国の軍勢に包囲され、1556年にイヴァン4世（雷帝）により征服されました。1569年にはオスマン帝国からの侵攻や包囲を受けましたが、結局、オスマン帝国は征服できず撤退しました。それから、以降はロシアの前哨都市として発展しました。アルメニア人、ペルシア人、インド人、ヒヴァ人なども居住する国際的な交易都市となりました。
1670年には、ステンカ・ラージンの率いた反乱軍勢に占領され、ロシア帝国に対する抵抗の拠点となりました。
　そして18世紀に入ると、ピョートル1世がこの地に造船所を建設しました。その後、アストラハンはロシアの中央アジア侵略の基地となりました。

サライ・バトウのテーマパーク

アストラハンにあった金帳汗国（ジョチ・ウルス）の首都サライ・バトウを再現したテーマパーク。映画「オルダ」の撮影のために使用したセットを利用、中世のアストラハンの雰囲気を再現しています。中世のキャラバン・サライやモスク、当時の住居が再現されています。アストラハンから130kmのハラバリンスキー地方にあります。13～14世紀にはここにチンギスハンの孫のバツーによる金帳汗国の首都がありました。当時7万人以上の都市でした。2010年に映画「オルダ」の製作の際に街が復活しました。
要事前予約：ロシア語、入場時刻は予約時に決めます。料金1名：4500ﾙｰﾌﾞﾙ
TEL:7-937-911-3030

驚異の巨大マンモス標本・アストラハン郷土史博物館

博物館は1837年12月12日に知事イヴァン・チミリャーゼフにより創設されました。アストラハン州の歴史と自然の膨大な展示がありアストラハンの歴史を知ることができます。サルマト人（紀元前6～2世紀）の黄金や古生物コレクションの展示ではマンモスの骨格標本があります。

市内最大の美術館・アストラハン国立ドガジン画廊

ドガジンのコレクションの寄贈により1918年に設立。19300点を保有しています。16～20世紀のロシアのイコン、18～20世紀の絵画や彫刻。F.ロコトフ、D.レヴィツキー、K.ブリューロフ、K.シチェドリン、A.クインジ、I.レヴィターン、A.サヴラソフ、M.シーシキン、M.ネクラソフ、K.マレーヴィチ、V.カンディンスキー、N.レリフの油絵があります。ロシア以外のものでは、17から20世紀の油絵が8000点。中にはルーベンスの作品も含まれた充実した博物館です。

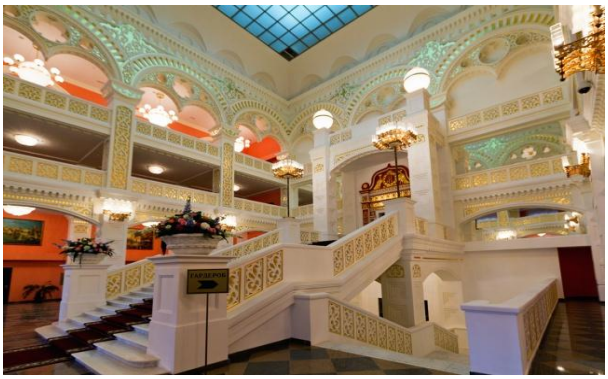
美術館内で声楽コンサート

華麗なウスペンスキー大聖堂とアストラハン・クレムリン

イワン４世（雷帝）の治世の１５８２年に建設が始まったクレムリンの壁と塔と。１６世紀後半のユニークな建築様式となっています。
ロシア連邦の国家遺産に指定されているウスペンスキー大聖堂と門の役割を果たしているナドヴラートナヤ鐘楼。内部は華麗な装飾。現在でもミサが行われています。
他にニコーリスキー教会、キリーロフスキー礼拝堂など。
アルチルレリースカヤ（拷問）塔ではルーシ（古ロシア）の刑罰の歴史他の展示が行われています。
また、赤い門塔は唯一のアストラハンクレムリンの１２面の塔となっています。

荘厳な建築・アストラハン国立オペラ・バレエ劇場

１８９９年に実業家のコンスタンチン・ポリャコヴィッチにより夏の劇場を建設。当初の建築はマラホフスキーによるが１９７６年火災により焼失。夏の巡業劇場を建設。現在の建物はモスクワの建築家アレクセイ・デニソフにより2006年に建設が始められました。18～19世紀にはやった銀の時代のネオ・ロシア様式による建物です。モスクワのボリショイ劇場よりも巨大な劇場です。最初のコンサートはマリインスキー劇場管弦楽団、ワレリー・ゲルギエフの指揮でガラコンサートが2011年10月27日に行われました。毎週土曜・日曜にバレエ・オペラなどのコンサートが行われていますので、是非観劇をお楽しみください。



20世紀最大の大詩人フレーブニコフの家博物館

ヴェリミール・フレーブニコフ（本名　ヴィクトル・ウラジーミロヴィッチ・フレーブニコフ）（1855～1922）、アストラハン唯一の文学博物館、この詩人のロシア国内に２つある博物館の一つです。１９９３年にオープン。詩人の両親のアパートでここに有名な画家でもある彼の妹ヴェーラとその夫ピョートル・ミトゥリッチが住んでいたこともあります。展示は前世紀初めの知識階級のアパートの雰囲気を醸し出しています。フレーブニコフの私物も展示されています。

レーニンのお父さんが生まれた市歴史博物館

１９世紀にウリヤーノフ一家（１８３１年　ウラジーミル・イリーチ・レーニンの父イリヤ・ニコラエヴイッチ・レーニンが生まれた）が住んでいた家が博物館としてオープンしました。主に１９世紀の市民の生活が展示されています。別館には職人、プチブルや商人の生活が展示されています。

クストージエフの家博物館

アストラハンの画家ボリス・ミハイロヴィチ・クストウージェフ（1878～1927）の博物館。建物は20世紀の初めに商人モイセーエフにより建てられたものです。7つのホールがあり画家の鉛筆画、木炭画、リトグラフ、油絵、彫刻などが見られます。あまりにも有名な猫がほおずりする「お茶を飲む商人の妻」はクストージェフの作品です。

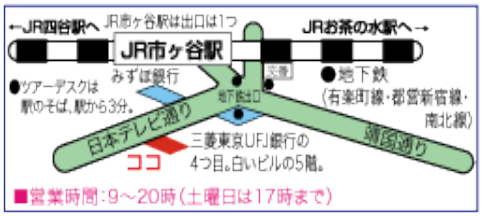
お茶を飲む商人の妻

キャビア

アストラハンはカスピ海のチョウザメの卵、キャビアで有名な街です。お土産にキャビアはいかがでしょうか。

お客様の声

K.W.
歴史が好きで、以前から興味を持っていたアストラハンへ行きました。さっそく待望のクレムリンを訪れました。一番興味をひかれたのは拷問塔で古代ロシアの刑罰の歴史の展示がありました。当時の拷問の様子が人形を使って再現されていました。生首まであり実際に拷問をかけられている人達の声が聞こえてきそうでした。

K.S.
私は亀山先生の「甦るフレーブニコフ」を読んで、アストラハンに行ってみたいという思いにとらわれ今年の夏に休暇を取り、ついにアストラハンを訪れることができました。先生が「アストラハンは、アジアの血を物理的に交配し、「来るべきアジア住民の新たな種族」を創造する「人類と遺伝法則研究の殿堂」が現実に高くそびえ立つ場所」と書かれ、私をそれを見にもって感じ取ることができました。フレーブニコフの家を訪れ、この天才詩人の育った街で有意義な休暇を過ごすことができました

観光庁長官登録旅行業第98号
ロシア旅行社
〒102-0076 東京都千代田区五番町5-1 第8田中ビル5F
TEL:03-3238-9101 FAX:03-3238-9110